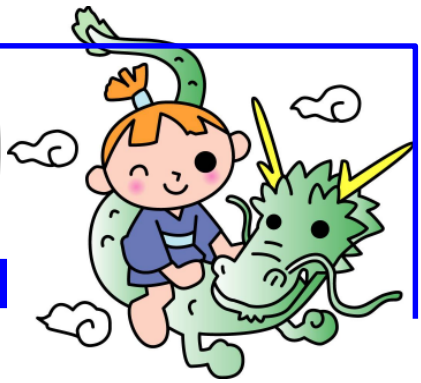
平成 21 年 10 月発行 第 42 号

ダムの風だより

国土交通省大町ダム



大町ダムのキャラクター、犀龍と小太郎

“ダムの風だより”は国土交通省 大町ダム管理所が発行する広報誌です。

こんなこともやっています 大町ダム

高瀬川の水環境改善の取り組み

秋晴れの続いていた 9 月 26 日、高瀬川では今年も「瀬切れ」が確認されました。

瀬切れは川を流れる水がなくなってしまう状態で、水の中で暮らしている水棲生物には大きな影響を与えます。

瀬切れは降雨の少なくなる秋から冬に掛けて発生しやすくなり、高瀬川では昨年は 1 回、一昨年は 4 回確認されています。

大町ダムではこうした瀬切れの発生時にはダムからの放流を増やすことによって、瀬切れを解消させる水環境の改善を行なっています。

その時 大町ダムでは！？

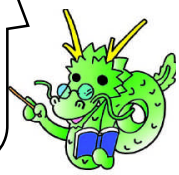
9 月 26 日午後、瀬切れを確認すると、14 時 35 分より大町ダムからの放流を段階的に増やして瀬切れの解消を図りました。

9 月 26 日 追加放流前
瀬切が発生した高瀬川
（池田町林中付近）

9 月 27 日 追加放流後
流れを取り戻した高瀬川（同地点）

最大で毎秒 2m^3 を追加したんだ。

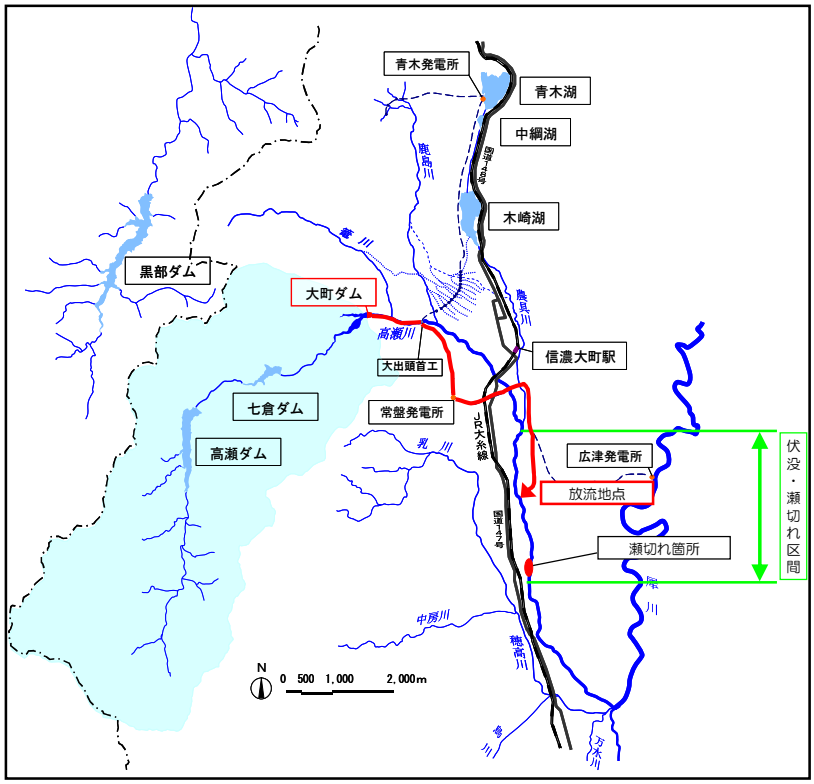
赤線の水路を使うことにより大町ダムの水を早く運ぶことができたんじゃ。



今回の放流では、できるだけ早く瀬切れ地点にダムの放流水を到達させて瀬切れを解消するため、利水者の協力を得て、発電やかんがいに使う水路を使って、瀬切れ地点にピンポイントで放流することを試行しました。

これにより、ダム放流水が瀬切れ地点まで到達する時間を大幅に短縮することができました。

大町ダムでは、これから台風等の水害に備えるとともに、瀬切れ対策等を通じて高瀬川の水環境改善に努めていきます。



高瀬渓谷フェスティバル 2009 開催しました

「森と湖に親しむ旬間」行事の一環としての「高瀬渓谷フェスティバル 2009」を 8 月 9 日（日）に開催しました。毎年恒例行事となり 22 回目を迎えたこのイベントですが、今年は「大町温泉郷ぐるったネットーク」と共催という形をとり、10 周年を迎える「わっぱらんど夏祭り」と同日開催、両会場を往き来する連絡バスを運行させるなど、地域ネットワークを広げました。

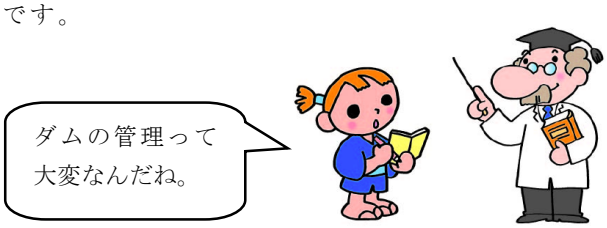
ダム内部見学、龍神湖巡視体験、丸太切り体験、サンドアート作り、魚の放流ツアーなど、「森と湖に親しむ旬間」の目的どおり、森と湖に親しむいい機会になったと思います。

ダム内部見学
普段見る機会のないダム内部の監査廊に入り、「涼しくて気持ちいい～」という声もありました。

シュレッダーにより裁断された古紙でフラワーポットを作る専用機「はちろう君」によるポット作り体験
コツに加えて力もいるようです。

丸太切り体験
日常生活では触ることのない工具に悪戦苦闘

職場体験学習　行いました



大町ダムでは毎年、地元中学生の職場体験学習を行っています。
今年も第一中学校と仁科台中学校から合計 11 名が参加しました。
最初にダムの役割を理解してもらったら、もうダム管理員の一員です。二日間に渡って、実際に日々実施しているダム管理作業を実体験してもらいました。
ダムに異常がないかを計測器で確認するダム諸量チェック、ダム内部に浸透してくる漏水量に異常がないかを計測、ダム内部や管理用道路に異常や危険箇所がないかを確認する巡視、作業船でダム湖に出て貯水池斜面の点検と流木拾い、無線機で管理所と連絡を取り合いながら下流河川の巡視など、２日間に渡って体験しました。
日頃経験したことのない作業を緊張感をもって行うことで、貴重な経験をしていきました。

漏水量の測定
全員の数字が一致するまで確認しながら計り直します。

管理用道路の巡視
道路の上下の斜面の状況を確認していきます。ヘビやハチにも注意が必要です。

ダム湖での流木拾い
見た目の大きさに比べて、以外と重く湖面から引き上げるのにも一苦労です。

洪水から地域の人々の生命や財産を守り、ふるさとの大切な水資源を活かすことが、大町ダムの使命です。ダムに関するご意見やご要望もお待ちしています。

国土交通省 北陸地方整備局 大町ダム管理所
〒398-0001　長野県大町市平字ナロヲ大クボ 2112-71　TEL. 0261-22-4511(代)　FAX. 0261-22-4512
http://www.hrr.mlit.go.jp/omachi/